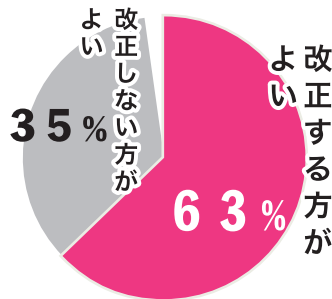


署名サイトVoiceで
オンライン署名を受け付けています

It's now or never.

対話の時間は終わった 最後の改憲のチャンス逃すな

2/3年内の国会（衆参）での
賛成による発議と国民投票を



【憲法改正の賛否】

読売新聞社 令和6年実施
憲法に関する全国世論調査

ませんでした。その間、日本を突如襲った新型コロナウイルス感染症とロシア軍のウクライナへの軍事侵攻など、憲法のあり方を問う世界規模の出来事により、憲法改正を求める世論は高まり、各世論調査でも憲法改正に賛成の回答が増えています。

**改憲原案さえ
提出していないのは
国会の不作为である**

令和3年衆議院選で自民党は党の公約として憲法改正を掲げ単独で過半数を大きく上回る議席を得ました。首相に選出された自民党の岸田文雄総裁は、憲法改正を任期中に目指すと述べましたが、衆参の憲法審査会は立憲民主党の「欠席戦術」により長らく開催され

昨年より定期的に憲法審査会が開催されるようになりましたが、立憲・共産党は自民党の「キックバック問題」を持ち出し、憲法改正の議論をしていません。この状況下でも、自民党の憲法改正実現本部長である古屋圭司参議院議員は「幅広い政党の支持を得て条文化を」と述べています。しかし、話し合いの時間はもう既に終わったのではないのでしょうか。改憲原案さえ提出していないのは国会の不作为であるといえるでしょう。

**決めるのは国民だ
自民党は改憲原案を
提出せよ**



<https://voice.charity/events/793>

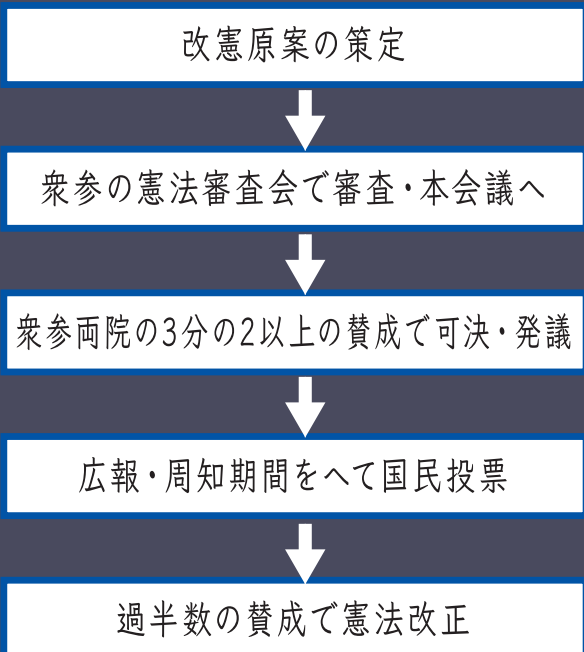
**ご署名は
こちらから**

法改正実現」を実現する責任があります。憲法改正の是非を決めるのは国民です。私たちは、自民党の英断と迅速な行動を求めます。

私たちは緊急で自民党議員に憲法改正の発議を求めました。さあ、共に行動しましょう。

薄氷を踏む 本年中の改憲発議

【憲法改正の流れ】



私たち憲法改正を求めている国民は、自民党に対し、速やかに改憲原案を憲法審査会に提出し、国民に発議するための次のステップに移行することを要求します。自民党は、国民の代表として、また、岸田総裁が公言した「任期中の憲